

在ボストン日本国総領事館主催

第十四回日本語コンテスト

(敬称略)

審査員 エッセイ部門

サヴァス美苗

畑正高

臼井江美

カールソン鈴木和子

嶋津晃代

ブリッジウオーター大学

株式会社松栄堂社長

ボストン大学

バーモント大学

フィリップス・アカデミー・アンドーバー

審査員 スピーチ予選

高安啓子

クラフ幸子

作田貴志

根本菜穂子

元ボストン日本語学校

ホールデール高校

講談社 USA Publishing, LLC COO

マウント・ホリヨーク・カレッジ

審査員 スピーチ本選

シヤピロ富貴子

藤原久枝

森田喜代子

辻久美子

ブルックライン高校

ブランドイス大学

元タフツ大学日本語講師

ノースイースターン大学

協賛企業

株式会社松栄堂

講談社 USA Publishing, LLC

小川珈琲 USA

味楽らーめん

大学上級レベル 一位

私に影響を与える人

ノースイースターン大学

チュエ・ジュ

私に影響を与える人の名前は岩倉美津未です。彼女の名前はきいたことがないかもしれませんが、実は、えらい科学者でも作家でもスターでもなく、美津未は「スキップとローファー」というの漫画のキャラクターの一人です。

岩倉美津未は、漫画「スキップとローファー」の主人公で、石川県の田舎町から東京の高校に行った女子高校生です。とても小さな田舎町で育った彼女は、初めての東京の生活にあまり慣れていません。新しい学校では試験もうまくいかないし、東京出身のクラスメートとも友達になれません。でも、失敗しても、美津未は夢をあきらめずに、前向きに向かう努力しました。自分を変えた東京のクラスメートに合わせるのではなく、自分の真心で人の心を動かすということです。例えば、男性学生がクラスメートの外見について話しているところを聞いたとき、「それは失礼な言い方だ」と注意しました。そして、クラスメートは彼女の正直さと真心に気がついて、彼女と友達になります。

四年前、私は中国からアメリカに留学しました。初めて外国に住むことになったとき、言葉や生活の不便さに困ったり、友達ができないことにすごく悲しかったです。その時、偶然に「スキップとローファー」を読んで、美津未の前向きさとやさしさに色々な影響を受けました。その後、彼女のように、毎日悲しいことばかり考えるのではなく、前向きに問題をかいけつして、いい友達ができました。

他の漫画の主人公と違って彼女はヒーローでも天才でもなく、私たちと同じようなふつうの人間です。しかし、彼女は私に新しい環境への立ち向かたと前向きなたいどを教えてくれました。人生の冬に、彼女は春の太陽のように、私に暖かさを与えてくれました。

大学上級レベル 二位

影響を与える人

ボストン・カレッジ イエーツ・ジャクソン

私に影響を与えた人は有機化学を教えているデイーク先生だ。先生のおかげで研究者や指導医になりたいと思っっている。

1年生の時には、「有機化学はすごく恐ろしくて難しいクラス」と聞き続けていたので、そのクラスを取るのが怖かった。クラスの初日はドキドキしながら、大教室の後ろに座って二百人の学生の中に混ざっていた。でもその最初のクラスで先生がしたカタツムリと紫染料の話に驚いた。次のクラスでは大教室の一番前に座った。先生は今度は「発火という化学反応」を見せてくれ、私を感動させた。先生がまるで魔術師のように見せてくれる面白い物に心を奪われて、ずっとそのクラスに行き続け、そのうちに先生のオフィスアワーにも行ってみた。先生は、鬼なんかではなく、優しく情熱的な人だった。有機化学についてもいろいろと教えてくれて「教えるのが大好きな人」だと思った。いつもオフィスアワーに行くようになった。先生は学生がする質問に何でも答えてくれ、そして二百人以上の学生の名前も覚えていた。先生の熱心さのおかげでクラスの皆はこの難しいと言われていた有機化学のクラスが大好きになった。

「影響を与える人」とは私はインフルエンサーだと思う。メディアのインフルエンサーではないが、完全に他人の人生を変える影響を与えてる。先生がいなかったら、私は研究者や指導医になろうと思わなかったかもしれない。人々がメディアのインフルエンサーのようにになりたいと思うように、「影響を与える」というのは、つまりは「その人に憧れる」とか「その人になりたい」と同じだと思う。

今、私はどんな医者になりたいかをよく考えている。やはり先生のような優しく、他人を助けたり教えたりする人になりたいと思う。私は怖いクラスを取っても、先生の優しさのおかげでいい経験になったから私も医者になった時、他人に同じようなことを感じさせたい。私もいつか誰かのインフルエンサーになりたい。

大学上級レベル 三位

日本語を学ぶことで私の考え方がどう変わったか

マサチューセッツ大学アムハースト校

シー・ウッズ

「最善を尽くしなさい」子供の頃、私はいつもそう教えられた。これはいいメッセージだと思うが、私の頭の中で、いつか「最善」とは「できるだけ頑張る」ということではなく、「完璧にする」ということになってしまっていた。一生懸命勉強し、いい成績を取っても、それは十分ではなかった。試験の問題を一つでも間違ったら、最善を尽くさなかったと思うようになった。スポーツをしたり、絵を描いたりする時にも完璧にできなかったら、私にとってそれは失敗だった。生活の全てが完璧であるべきだという考え方を持つようになったので、しようとしないう方がましだとよく思った。

日本語を勉強し始めた時、初心者だからということ、自分にこの難しい言語で間違えることを許そうとした。しかし、翌年日本に留学したら、もうそれはできなかった。同級生は全員私より日本語が上手な気がして、「もっと練習したなら、そのように上手に話せる」と思った。先生の言っていることが分かりにくかった時は、「もっと勉強したなら、分かる」と思った。やはり、「最善」を尽くさなかったので、また失敗したと感じ、そもそも学ぼうとするのは無駄ではないかとさえ思った。

しかし、日本での生活を続けるうちに、それは本当ではないことに気がついた。間違えながらも、日本の学生と会話をして親しくなることができた。先生の言っていることを全て理解することはできなかったが、授業の内容は分かった。一人で旅行もし、日本語で映画を見たり、ゲームをしたり、漫画を読んだりできた。それらは完璧ではなくても絶対に失敗ではなかった。学ぶのは無駄ではなかったという証拠が明らかに見えた。

何かを学んでいる時には、間違えるのは当たり前である。それでも、それは失敗なわけではない。最善を尽くすとは完璧にすることではなく、間違えても諦めないということであり、それで十分なのだ。日本語を学ぶことが私にそれを教えてくれた。

大学中級レベル 一位

日本語を学ぶことで私の考え方がどう変わったか

ボストン・カレッジ エミリー・ラビンス

日本語を習い始めて以来、自分が見ているものは何でもっと注意深く考えなければいけないので、新しい事にも気づき始めた。普通の朝でも、以前は気づかなかったものにも今は注意する、日本語で考えようとするから。日本語に素晴らしい習慣をもらったと思う。

例として私のある日の朝を描いてみよう。朝起きると、窓の外のエサ台にはナゲキバトが待っている。リスが来ないといいな。鳥が逃げてしまうと悲しいから。そして、私の後ろからはテレビの相撲の一月場所が聞こえてくる。私の彼氏は相撲が大好きなのに日本語がわからないから、私が力士の名前を読んであげる。

鳥たちを見ている時、その様子を表現するために適当な日本語の単語を考えてみる。羽ばたいているの？飛んでいるの？日本語では、いくつ表現できるの？私が自分の目の前で見ている光景を、言語の壁を超えてどうすれば同じ気持ち伝える事ができるかと考える。そのために、自分が見ているものについて英語よりも注意深く考えるようになった。日本語を学ぶことで、普通の生活の中でも、一万回も行ったことがある所に行っても、毎日している事をしている中でも、必ず新しく気づく事がある事に気づいた。

さて、これを書いている時にテレビでは、翔猿が押し出しで勝った。先場所の時これらの漢字を調べたので、今は力士の名前が読めてよかった。昨日読めたものより今日は一つでも多く読めれば嬉しい。

毎日、頭の中で日本語に訳しながら、まるで楽しいパズルを解いている気持ちだ。英語に比べて、日本語の文法はとても違っているから、頭の中で単語を動かさなきゃいけない。日本語を勉強する前に外国語で考えるこの楽しさを経験したことがなかった。

急に小さな羽が百羽も羽ばたいているような音が聞こえる。鳥たちは何を怖がったのかな。

数分後、鳥たちが戻ってきた。こうやって、私は日本語も周りの事も、毎日新しい何かに気づきながら、新しい事を学んでいる。

大学中級レベル 二位

私に影響を与える人

ウィリアムズ・カレッジ

シシ・チェン

私に一番影響を与える人は、高校時代に出会った友人です。彼女のおかげで、私はより前向きで外向的になりました。彼女の助言を受けて、私は今の専攻——経済と政治——を目指すようになりました。

私に影響を与える、その高校時代の友人は小さい頃にアメリカに來たフランス人で、私のような留学生の悩みごとがよくわかりました。入学式の日、最初に、ひとりぼっちで緊張していた私に話しかけてくれたのは彼女でした。「アメリカについてどう思いますか」や「趣味は何ですか」などの話をたくさんしました。高校に入る以前の私はあまり自分の社交能力に自信をもっていなかったもので、このような好意が本当に励みになりました。そのため、私も自分のような留学生をサポートしてあげたいと思うようになりました、翌年の新入生にできる限り声をかけたり、勉強や寮生活のお手伝いをしてあげたりしました。このような経験を積み重ねることで、私も高校でリーダーシップを取るようになりました。

高校の頃、私は生物学と化学が大好きで、彼女も生物学に深い興味を持っていました。同じ興味のおかげで、私達は同じクラスに入り、よく一緒に勉強していました。生物学だけでなく、彼女は政治や法律についても詳しくかったです。彼女との会話がきっかけで、私は初めて政治と法律に関心を持つようになりました。私は昔から弁論が好きだったから、「模擬裁判という法律を使う弁論大会があるので、一緒にやってみましょうか！」と、彼女は私に勧めてくれました。この模擬裁判を体験したおかげで、政治と法律に更に熱中するようになりました。政治と法律が難しいけれども、勉強する過程は楽しかったです。

中国に「朱に交われば赤くなる」と言う諺がありますが、私は高校時代の友達との交流を通して、自信を持てるようになり、他人にもより優しくしてあげられるようになりました。

大学中級レベル 三位

デヴィッド・リンチから学ぶ「エンパシー」と「愛」の生き方

マウント・ホリヨーク・カレッジ

エミリ・ホワイト

有名な映画監督のデヴィッド・リンチが先月亡くなりました。私は彼の作品の大ファンですが、それ以上に彼の人生観に影響されています。

私はとても大人しくて、シャイな子でしたが、共感力が他の子よりずっと強かったです。というのは、小さい頃から、現実世界でおこる恐ろしい出来事の重さに、いつもつぶされそうになり、とてもつらく感じていたのです。今も毎日ニュースに流れる世界中で起きていることすべて、私にとっては見るのも、聞くのもつらすぎます。戦争だけではありません。例えば、12歳の頃、周りの人を傷つける女がいました。私は、その女も、傷つけられた方たちも助けたかったけど、できなくて、希望を失いました。こんな時今でも、私にできることは何もないと感じて、とても悲観的になってしまっています。

リンチの作品には、暗くて、恐ろしいことがよく起きます。しかし、私は、彼のすべての作品に、「人間性への信頼」と「人生の愛」を感じることができるのです。例えば、「ブルーベルベット」の中には、ある女性が、「愛の象徴である鳥が何千羽も飛び立ち、愛のまぶしい光を暗い世界にもたらした夢」を説明するシーンがあるのですが、そこで、彼女は「愛だけが違いを生む」と言うのです。私はこの言葉に本当に感動しました。彼の作品は、愛が世界を変えられる可能性を見せてくれました。

今も、毎日のように痛めつけられている人々がいます。デジタル時代の今はもっとひどくなったと思います。リンチもそれを認めています。愛とエンパシーが世界をもっと美しい場所にできるとも強く信じていました。そして、それを人生の神秘として受け入れていました。このような彼の人生観は、人生の複雑さを受け入れ、愛を持って生きる生き方を私に教えてくれました。

このように、私にとってデヴィッド・リンチは、世界の恐ろしさを克服できる唯一のものが「エンパシー」と「愛」だと教えてくれた人です。

大学初級レベル 一位

私とつながる人々

マウント・ホリヨーク・カレッジ

キム・ジウン

多くの人々は成功した人や尊敬する人からアドバイスをもらってモチベーションを高めます。でも、私は少しちがいます。

私は大学で言語学を専攻しています。2年生の夏、ロンドンで失語症の研究インターンをし、脳卒中で言葉が不自由になった患者さんたちと出会いました。あるお父さんは、言葉に

困難を抱えながらも、毎日研究者たちに感謝を伝えようとしていました。

「うーん、そうですね。あなたの…ええと、学生は、みなさん、とてもあたたかいです。とてもあたたかい。ええ、あたたかい、あたたかい。はい、はい僕は笑うことができました。僕の手も、笑いました。」

その姿に感動しました。インターンシップの間、失語症の方たちと話し、笑い、大切なのは完璧な文法や流暢な発話ではなく、「誰かと気持ちを共有すること」だと感じました。また、多くの参加者が「治ること」だけでなく、言語療法士や周囲の人々との「つながり」をほしがっていることに気づきました。人と人を結びつける・つなげるものが「言語の力」なんだと感じました。単なるコミュニケーションの手段の言葉ではなく。

私は言語が大好きです。でも高校の時から「理系を勉強したほうがいい」と言われ、「好きな言語を諦めるべきか？」と悩んできました。しかし、ロンドンで出会った人々から「言葉の力」を学びました。

そして、今は、言語を通じて人と人がつながることを研究し、より良いコミュニケーションを支えたい。それが私ができる私の使命だと思っています。そのために、「言語学」の道をあゆみつづけたい、それから、人々がよりよい対話ができる世界を目指したいです。それが、今の私の夢です！この夢は、言語学の論文からでも、先生方からでもありません。あのお父さんからです。ですから、私に一番えいきょうを与える人は、私とつながる人々なんです。

大学初級レベル 二位

言語は世界を変える鏡

ハーバード大学

マイケル・フリー

六か月前、私が知っていた日本語は「こんにちは」と「さようなら」だけだった。それでも、日本語を学ぶことにした。なぜか？アニメが好きだったから？それもある。しかし、本当の理由は「違う世界」を見たかったからだ。言語はただの道具ではない。それは私の考えを作り、世界の見方を変えるものだ。

毎朝の授業は大変で、文法も難しかった。しかし、もっと難しかったのは、日本語を話す時、「別の自分」になったように感じることであった。例えば、英語では、自信を持って意見を言った。だが、日本語では子どものようにしか話すことができなかった。

「言語が変わると人格も変わる」と聞いたことがあったが、それを実感した。では、言語が変わると、自分自身も変わるのだろうか？

今年の一月、札幌の高校にワークショップを教えに行った。最初はとても緊張した。私の日本語はまだ下手で、生徒たちも英語があまり得意ではなかった。どうやって大切なことを話し合うのか、分からなかった。だが、ある日、食堂で子どもの頃の話について話していたとき、突然気づいた。それは、「流暢に話せること」よりも「つながること」のほうが、ずっと大切だということだ。たどたどしい日本語でも、生徒たちと笑って、思いを共有できた。その瞬間、英語を話す自分でも、日本語を苦労して話す自分でもなかった。ただ「私」だった。言葉を越えて、お互いを理解し合おうとする人だったのだ。

私は今、言語がただのスキルではなく、「鏡」だと分かる。日本語を話すと、新しい視点で世界を見ることが出来る。英語では、気づかなかった細かな差異や考え方が見えてくる。そして、新しい言語を学ぶたびに、新しい考え方を手に入れる。それこそが、私がこれからも日本語を学び続ける理由だ。もっと大きな世界を見て、もっと多くの「私」に出会いたい。

大学初級レベル 三位

日本語を学ぶことで私の考え方がどう変わったか

タフツ大学 クリス・クオン

私は先学期に日本語の勉強をはじめました。クラスでクラスメイトとたくさん日本語を話します。でも、クラスの外で日本人の友達とは違う日本語を使っていました。カジュアルな日本語を知りませんでした。友達と話す時と先生と話す時は文法が違います。英語はそうじゃないです。難しくて、面白いと思いました。

私は子供の時から野球をしています。テレビでメジャーリーグを見ています。インスタで日本の野球のファンを見ました。ファンはゴミを拾っていました。アメリカのファンはゴミを拾わないから、びっくりしました。日本のファンは野球スポーツに敬意をもっていると思いました。

この敬意は日本の文化だと思います。日本語にも日本の文化を見ます。日本語にはたくさんスピーチスタイルがあります。日本の文化で人との関係は大切だと思います。家族の単語はウチとソトで違います。私の名前に「さん」を使いません。「さん」を使う時、お互いに敬意があるのがわかります。先生にカジュアルな日本語も使いません。英語にはこれがありません。だから、ジェスチャーとトーンを使います。

このむずかしい世界で敬意はとても大切だと思います。友達の話をよく聞いて、約束を守って、お互いをたすけるから、いい関係を作ったり、信用できたりします。

日本語を勉強していて、今もう一度敬意について考えています。英語は日本語より単語と文法に敬意がありません。でも、私は英語を使う時、前より敬意を伝えようとしています。日本語の勉強は違う文化について新しい考え方をくれました。

今、大谷翔平はアメリカですごく人気があるから、インスタでたくさん日本の野球のファンについてアメリカ人も見ます。アメリカ人は日本のファンから敬意とマナーを学べます。外国を勉強することは、文化を学ぶことだとわかりました。このむずかしい世界で敬意を持って、お互いとわがらうとするのはとても大切だと思います。

高校上級レベル 一位

日本語を学ぶことで私の考え方がどう変わったか

ブルックライン高校

アダム・ブレイア

これから日本語を学んで、私の考え方がどう変わったかについて説明します。私は高校に入ってから、ほぼ四年間、日本語を勉強しています。そして、新しいことをたくさん学んできました。

まず、日本語を勉強していることで、私は日本の文化についてたくさん習いました。日本語を勉強する前には、アメリカの文化しか知りませんでした。しかし、日本語の授業でアメリカと違ういろんな日本の文化を知ることができました。例えば、日本の高校の規則はアメリカより厳しくて、驚きました。そして違う国の文化を勉強したおかげで、世界の違う文化をもっと理解できるようになりました。

二番目は、日本語を勉強して、私は日本の文化がもっと好きになりました。高校に入る前に、日本のテレビとか、日本の本とか、日本の文化にはあまり興味がありませんでした。しかし、日本語を勉強し始めてから、たくさんアニメを見たり、日本の本を読んだり、日本のものをたくさん買ったたりして、もっと日本に興味をもちました。たとえば、私の日本語の先生のおすすめで、高校一年生の時に、「ワンピース」のアニメを見始めました。そのアニメは本当に長いですが、日本語に興味があったから、頑張って見ました。今は、「ワンピース」は私の一番好きなテレビで、毎週の日曜日に新しいエピソードを見えています。

最後に、日本語を勉強することは、私の人生の情熱になりました。高校に入る前は、あまり夢とか、高校を卒業した後の計画がありませんでした。興味あるクラスもありませんでした。本当に迷子でした。しかし、日本語を勉強し始めた時に、私の人生で初めて本当に興味がある授業を見つけることができたと思いました。来年は大学で日本語を専攻して、もっと日本語を勉強して、日本の文化を学んでいくつもりです。大学の中に、日本へ交換留学もするつもりです。そして、いつか日本に住みたいです。

高校上級レベル 二位

日本語を学ぶことで私の考え方がどう変わったか

ブルックライン高校

グラム・マーティンウィルソン

私はアメリカ人です。アメリカはとても大きな国ですから、アメリカの全てを知りません。だから、もちろん世界の全てでも知りません。しかし、私は日本語を勉強している時に、色々な新しいことを習いました。日本語を勉強する旅は面白かったり、難しかったり、楽しかったりしました。そして、日本語を勉強する旅で、私の人生は変わりました。

私の日本語を勉強する旅はやさしくなかったです。中学で、私の興味はあまり言語にありませんでした。日本語の勉強を始めた時、明らかに何も読めませんでした。そして、書けませんでした。英語には26文字ありますが、日本語には何千文字があります。最初の年には、書くことができませんでした。でも、先生と同級生は私をよく手伝ってくれました。それで、日本語を勉強する旅で、手伝ってもらうこと、わからないことは聞くことを習いました。それはとても大事な能力です。

そして、日本語を勉強する旅で、日本に行きました！その旅行はとても面白かったです。日本の学校に行つて、日本の食べ物食べて、日本の生活を送っていました。日本語の勉強を始めた時に、そんな旅行は無理だと思っていましたが、それから、三年後に、私は日本にいました。私の知っている世界とはずっと違いました。とてもいい経験をしました。

最後に、日本語は私に色々な能力に与えました。今、日本語を読むことと書くことと話すことが出来ます。日本語の旅で一番大事なことはいい友達に会えたことでした。四年間、日本語のクラスを受けていると、もちろん新しい友達に会います。私の同級生は優しかったり、可笑しかったりしました。その友達は、私の日本語を勉強する火の光でした。私はとても感謝しています。今、結果として、日本語の旅の中で、私は大きく成長することができました。将来も日本語を勉強し続けますが、私は今までの日本語を勉強する旅のことを絶対に忘れません。

高校上級レベル 三位

日本語を学ぶことで私の考え方がどう変わったか

ブルックライン高校

セラ・オサー

高校に入る前、言語を勉強するのが嫌いでした。八年間スペイン語のクラスを取りました。小さい時は、好きだったのに、中学生になると、難しくなりました。それに、コロナの時は、スペイン語の勉強でたくさんのことを習うことができませんでした。中学で知っているはずの文法をぜんぜん習いませんでした。高校のスペイン語のクラスは、中学のクラスよりもっとむずかしそうでした。習わなかったスペイン語の文法が多すぎると思いましたから、高校で他の言語を取りたいと思いました。そして、外国語として日本語を選びました。

日本語は難しいのに、日本語を勉強することで、英語の言葉の新しいことを知りました。たとえば、ひらがなとカタカナの文字は、いつも同じ音で読んで、それぞれの英語の文字は色々な違う音で読めます。英語は、言葉の発音を知りたかったら、その言葉を聞かなければなりません。でも日本語で、言葉を読んだら、発音を推測するのは英語より絶対に簡単です。

私はたくさん日本で作ったビデオゲームをしています。日本語を勉強することで、そのゲームがもっと楽しくなります。一番好きなゲームは、スプラトゥーンというゲームです。日本語の訳も英語の訳も、冗談が多いです。今、日本語の訳の冗談が分りますから、スプラトゥーンは前よりもっと面白いです。たとえば、ウツホというキャラクターがいます。ウツホは鰯のトレーナーです。そして、家族の紋章は鰯ザクラです。英語しか話さなかったら、くだらなそうです。でも、日本語がわかるので、おかしいと思います。